

## 1 研究テーマ

**児童生徒が、自ら考え、学びたくなる授業づくり  
～資質・能力の要素を踏まえた授業評価を通して～**

## 2 研究テーマ設定の理由

本校は、知的障害の児童生徒を教育する特別支援学校である。肢体不自由や発達障害を併せ有する児童生徒も多く、障害の重度・重複化、多様化の傾向が見られ、一人一人の教育的ニーズに応じた指導が求められる。また、小学部・中学部から在籍する児童生徒も多く、高等部卒業までの継続的指導の内容や方法の一貫した取組が必要である。児童生徒は、本校卒業後、地域社会と関わりを持ち暮らしていくこととなり、「広島県版『学びの変革』アクション・プラン」でも『「資質・能力の育成を目指した主体的な学び」を促す教育活動を推進」しており、自分で考え、判断し主体的に学習活動に取り組む力を育てることが重要であると考えます。

本校では、平成 26 年度からの 3 年間「分かって動ける授業づくり、動きを促す授業づくりの推進」の研究テーマのもと、元愛媛大学教育学部教授の上岡一世先生から御示唆頂いた「基本行動」の視点を取り入れ、全校で統一した意識や目標を持って指導の実践に取り組んだ。系統的・計画的な指導へと推し進めるため、「呉特別支援学校『基本行動にかかわる系統表』」や、「呉特支版 基本行動チェックリスト」を作成し、基本行動にかかわる指導を行った。

また、教科及び各教科等を合わせた指導における系統的、計画的指導の充実を目的とした取組では、授業毎に作成する指導略案で本時目標について 3 つの観点を定め、授業者自らが評価した。

これらの取組から、児童生徒自身が基本行動を意識・実践し、単元系統表や単元計画をもとに適切に設定した授業目標の達成を積み重ねることで、児童生徒が自ら目標に向かって取り組もうとする意欲の向上や成長した姿が見られた。また、学びを系統的・計画的に身に付けることができ、主体的な学びや行動が促進され、社会的自立の力が付いてきたと考えられ、一定の成果があった。しかしながら、授業づくりにおいて、育成すべき資質・能力の部分までは、研究を深めることができなかった。

そこで、これまでの本校の研究成果や、各学部ごとに主体的に学ぶ児童生徒の具体像として設定した「目指す子供の姿（※①）」に加え、教育課程企画特別部会の論点整理で言われている「育成すべき資質・能力（※②）」を踏まえ、児童生徒に育成すべき資質・能力を具体化し、それを意識した授業を日々行うことができれば、児童生徒の主体的な学びが促され、授業の中で、自ら考え、学びたくなる姿を引き出すことができると考え、このテーマを設定した。

（※①）平成 28 年度教務部研修にて設定した。

小学部：夢中になって取り組む子供、中学部：考え、気付き、表現する子供、高等部：目的を持って活動する子供

（※②）教育課程企画特別部会の論点整理でこれからの児童生徒に育成すべき資質・能力の要素について、「個別の知識・技能」「思考力・表現力・判断力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理している。これらの要素は、学校教育法が定める、学校教育において重視すべき三要素、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」と共通するものである（学教法第 30 条第 2 項）。

### 3 研究仮説

児童生徒に身に付けるべき資質・能力を踏まえた授業実践及び評価を行えば、  
児童生徒の主体的な学びが促され、目指す子供の姿を引き出すことができるであろう。

小学部：夢中になって取り組む子供、中学部：考え、気付き、表現する子供、高等部：目的を持って活動する子供

### 4 取組及び検証方法

○指導略案による学習評価（目標達成）及び授業評価（目標設定、手立て）

年間3回（4月、7月、11月）の評価数値の変化から評価

○公開授業研究会に向けた授業検討会の授業参観による、授業参観シート（児童生徒の変容）のサンプリング、及び集計・分析

#### (1)授業研究に関する内容

ア 公開授業研究会(講演講師招聘・指導主事招聘)

各学部1研究授業、分科会、全体会、講演会

教材・教具展示、研究ポスター展示、等

イ 全教職員による、一人一回研究授業（11月中）

事前協議(TT,管理職)、事後協議(TT,管理職、参観者等)、

まとめ（児童生徒の「主体的な学び」を促す授業実践）の作成

ウ 他教員の授業観察(細案授業以外も可)

授業参観シートの記入

エ 公開授業研究会に向けた授業検討会(指導主事招聘)

公開研研究協議対象授業の授業検討(7月、11月、他)

オ 授業づくりに関する研修会

#### (2)校内研修会

・「学びの変革」に関する研修会(県教育委員会指導主事招聘)

授業評価、資質能力について

・障害特性に関する研修会(年間3回程度)

・合わせた指導(生活単元学習)に関する研修会

・教材・教具に関する研修会

#### (3)その他

・平成28年度版『呉特支版 基本行動チェックリスト』を活用した指導

児童生徒の実態に応じた、活用方法の検討、実施

## 5 研究成果について

○公開授業研究会にて、研究のまとめの発表

○年度末に研究紀要、及び『児童生徒の「主体的な学び」を促す授業実践』事例集を発行する。

## 6 年間計画

日程	事項	内容等
4月	新転任者研修	教育研究計画(今年度の方向性について)
4月	「学びの変革」に関する研修会	授業評価, 資質・能力
5月初旬	指導略案評価項目集計・分析①	
5月	障害特性に関する研修会①	
7月	公開研研究協議対象授業の授業検討(小学部)	授業研究・協議
7月	公開研研究協議対象授業の授業検討(中学部)	授業研究・協議
7月	公開研研究協議対象授業の授業検討(高等部)	授業研究・協議
7月末	指導略案評価項目集計・分析②	
夏季休業中	障害特性に関する研修会②	
夏季休業中	合わせた指導(生活単元学習)に関する研修会	
夏季休業中	教材教具に関する研修会	
11月	指導略案評価項目集計・分析③	
11月	公開研研究協議対象授業の授業検討(小学部)	授業研究・協議
11月	公開研研究協議対象授業の授業検討(中学部)	授業研究・協議
11月	公開研研究協議対象授業の授業検討(高等部)	授業研究・協議
12月	障害特性に関する研修会③	
12月11日(月)	公開授業研究会	各学部1研究授業, 分科会, 全体会, 講演会, 教材教具展示, 研究ポスター展示, 等
12月	広島県特別支援学校教育研究大会(仮)	
2月	研究紀要発行	

一人一回研究授業・まとめの作成  
(十一月中)